

《頓宮 美津子》

《予算概要書について》

問 市民は、税金がどのよう
に使われているか知る権利が
あり、予算は納得できるもの
であるべき。そこで、予算概
要書をもっと分かりやすく、
詳しいものに、また、ホーム
ページに掲載する予算書もカ
ラーにしたり、写真を入れた
りと総社市流の工夫を凝らし
たものにしたらどうか。

答 よく勉強させてほしい。
(市長)

《子どもの健康について》

問 国民健康保険の年代別疾
病別の統計によると、4歳か
ら19歳では歯科診療が1位で
ある。歯磨きは疲れた脳をリ
フレッシュする効果もあると
いう発表もある。そこで、学
校では歯磨き励行は行ってい
ると思うが、さらに小学校、
中学校においても歯磨きの励

行を徹底してはどうか。

答 効果なども検証し、徹底
してまいりたい。(教育長)

問 子どもたちに、早寝早起
き朝ご飯のチェックと共に排
便指導も行ってはどうか。

答 検討してまいりたい。

問 「地・食べ」の推進と老
朽化した給食センターを考え
第3の調理場を建てるべきで
はないか。

答 財政的に今のところはそ
の考えはない。(市長)

《山口 久子》

《防災について》

問 豪雨に対して、地理的に
どうしても浸水を防げない地
域があるが、その対策はどの
ように考えているか。

答 日羽作原地内は、国道の
堤防の高さを今より50cm上げ
ると外水は防げる。県にお願
いをする。内水は水路のかさ
上げを検討する。(市長)

問 ハザードマップの作成で

は、地域の人たちの意見が大
切だと思うが、作成にあたっ
てどのように考えているか。

答 今年度は公民館分館を18
箇所回り、また、個別に各団
体と集落単位で26回の会合を
し、2千人から聞き取り調査
をした。住民の意見を取り入
れたハザードマップにする。
(総務部長)

《福祉行政について》

問 4月1日から地域包括支

援センターが新しい体制にな
るが、介護保険課のバック
アップ体制はどのように考え
ているか。

答 財政難のため、市職員の
派遣は厳しい。6つの地域包
括支援センターで出発し、利
用者が安心して利用できるよ
うに、介護保険課内に7人の
指導者を配置し、対応する。
安心して相談できるように
バックアップ体制をとる。
(市長)



他市の予算概要書

《難波 正吾》

《新架橋について》

問 この橋の設置については
市のする事業ではないし、
後々、財政の圧迫になるとし
て反対してきた。工事の進捗
状況はどうか。

答 平成23年3月に右岸側橋
脚4基、橋台1基の工事に着
手し、9月に完成。平成23年
9月に河川内橋脚を3基発注
し、現在施工中。平成24年2



作原団地内水路

月に右岸上部工を発注し、現
在工事着手に向け準備中。さ
らに、平成24年度には河川内
橋脚2基と橋梁上部工を発注
予定である。平成26年度末の
完成に向け努力している。
(市長)

《服部停車場線の
吉備線踏切について》

問 停車場線が開通した後
も事故が2件起きている。ま
ず歩行者と通行車両の安全を

確保することが至上命題だ
と思う。吉備線の踏切を少し
広げ、西に振ることはできな
いのか。

答 スクラップ・アンド・ビ
ルド方式で踏切の幅を広げ
ると、それ相当分の踏切を廃止
する必要がある。JRと市の
折衝では、踏切を広げること
は、なかなかできないとい
うのが経緯だ。当面、歩道と車
道の境界について地元関係者
と協議したい。(市長)



拡幅が望まれる服部停車場線の踏切



消防団出初式

《村木 理英》

《消防出初式について》

問 出初式を礼儀教育の一端
とする考えはないか。また、
消防団の方は熱心に地域貢献
をしている。一般市民にア
ピールし団員の確保に結びつ
ける考えはないか。

答 出初式の振る舞いは礼儀
礼節の原点であり、一端を十
分担える行事であると考える。
(市長)

答 規律ある厳正な式典を市
民にアピールすることを消防
団幹部と協議し、式典をより
多くの市民に見てもらえる式
にしたい。(消防長)

《吉備路マラソンについて》

問 公認コースの取得の目途
はどうか。

答 ハーフマラソンを公認申
請する。6月末までに所轄警
察との協議を完了し、10月に
公認を目指す。(市長)

問 見直しする点はないか。

答 スタート時間、コースの
全面的な見直しも検討する。

答 観客席も検討する。(市長)

《生涯総社市のまちを
目指すことについて》

問 生涯総社市のまちを目指
すため、就職説明会を開催し
てはどうか。

答 商工会議所と実現に向け
てやっていきたい。(市長)